

寺
ごよみ

四 月

一日 下村お講
六日 展覧会スタート
一〇日 清掃奉仕
一三日 黒西組仏婦総会
一六日 栗虫お講
一七日 インド音楽ライブ
二四日 正信偈に学ぶ

花まつり

二七日午前八時
花つみ&かざり
二八日午前十時
花まつりマルシェ

※初参式（午前十時）
七五三（午後一時）
親子リトミック会
に参加希望の方はお寺
までご連絡ください。

寺 報
ぜん ぎょう
善 巧

発 行

〒 938-0862 富山県
黒部市宇奈月町浦山 497
白雪山 善巧寺
TEL (0765)65-0055
FAX (0765)65-0975
http://www.zengyou.net

釈迦十大弟子
と
ジャーマカ物語



会期：4月6日～28日
時間：13:00～17:00
(火休、4/24 休)



前回展覧会の様子。2 回目となる今回は 4 月 6 日より始まります。

お講（こう）の始まりは、本願寺第八代蓮如上人の時代と言われますので、五百年以上の歴史があります。地域社会や信仰生活に根ざした「寄り合い談合」の場であり、地域社会の人々を結びつける大事な役割を果たしてきました。

善巧寺では毎月一日と十六日の月二回を基本として、地区当番の割り当てで営まれていきます。昨今、核家族化によつて家や地域での伝承が難しくなり、加えて過疎化や高齢化の問題から立ちいかななくなる地域が始めました。ここ数年にわたり、当番の方たちの声を聞いてきたところ、「せっかく作つても参拝の人が少ない」という声も多くあり、それに関して、「ほっこり法座」のリニューアルによつて多少解決しましたが、問題の根本はそこではないようです。

お講

これまで長くお講を支えてきてくれた現在九〇代前後の方々は、嫁いだ頃からお寺に通う人が多かったもので、五〇年以上のキャリアを持った方がほとんどでした。しかし時代は大きく変化して共働きが当たり前になり核家族化も徐々に進み始めた次の代には、年に一度のご縁といえども重荷にしか感じられない方がおられることを知りました。さらに次の代は存在すら知らない方も多くなるでしょう。

今後は、人数の足りない地域では従来のやり方にとらわれず、出来る範囲のやりやすい方法を検討していただき、条件が揃えば合併も提案させていただきます。お寺としては手を合やす場を絶やさないために、どのような方法があるのか一緒に考えていきたいと思っています。

雪山俊隆

年頭参り

一月一日

新年の除夜の鐘ではおでんの振る舞いを本堂で行いました。午前八時頃からは例年どおり集会所で年頭参りのお待ち受けです。新年をお寺でようこそお迎えでした。



御正忌報恩講

一月十五日

昔から「ごしようき ほうおんこう」と言われるほどに雪の厳しい時節ですが、今回は近年稀にみる雪の少ない御正忌になりました。それでも二日目には朝から雪がチラつき、寒さに身を引き締めながらおつとめをして、法話の時間は雪景色がキレイな奥座敷で行いました。



仏婦総会

一月二十六日

仏教婦人会の総会が行われました。本堂でおつとめの後、門徒会館二館へ移動して、高岡・善興寺の飛鳥寛静先生より「王舎城の悲劇」を丁寧にお話していただきました。



た。飛鳥先生はほっこり法座でも講師をつとめてくださり次回は五月十六日の予定です。
総会では、今年度より婦人会会費五百円を廃止して善巧寺の一般会計から助成することになったことが報告されました。

花まつり写真提供

NHKの深夜番組「持論独論」に善巧寺の花まつり写真を提供しました。吉本新喜劇の小簀千豊さんが、「日本人ならお釈迦さまの誕生を祝いましよう！」と勧めておられました。



ほっこり法座

家や地域での伝承が難しい時代に加え、高齢化や過疎化などの影響を受けて、長年続いてきた「お講」が困難な地域が出て来ました。それを受けて、問題のひとつとしてよく声の上がっていた「せっかく料理を作っても参加者が少ない」という問題を解決するために、これまで一部のみにしか知られていなかった行事の在り方を変えて、「ほっこり法座」という名で有縁の人びとに声が届くように広報を始めました。おかげさまで、二、三人まで落ち込んでいた参加者を平均二〇人前後まで盛り返し、新たな参加者の入口となりました。

お寺としては手を合わせる場所を盛り返したことはこれ以上ない喜びですが、

依然お講当番の困難さは続いています。今後は、従来の在り方に縛られず人数の足りない地域から合併も視野に入れて相談させてください。地域の文化伝承は困難を極めています。一年に一度のご縁を過度の負担にならない程度に維持していくには、どのようにしたらよいのか、共に考えていきましょう。



2/1 和綴じワークショップ、堀麻由美先生を囲んで



3/16 講師：林口砂里先生



3/1 講師：西塔公崇先生



2/16 講師：日下賢裕先生



お釈迦様の 誕生月間

四月はお釈迦さまの誕生月です。本堂に釈迦像を設置しますので、甘茶かけにどうぞお立ち寄り下さい。



寺
ごよみ

五月

寺
ごよみ

六月

一日 ほっこり法座
一六日 ほっこり法座

一日 東狐・上野お講
二日 総代会
九日 仏舎利塔法要
一六日 ほっこり法座

初参式 受式者募集

～赤ちゃんの誕生を仏前に祝う儀礼～
新たな命の誕生をよろこび、初めて仏さまにご挨拶をさせていただく大切な儀礼です。一生の記念にどうぞご参加ください。

時 間:10:00(受付9:30)

対 象:生後100日～2才頃まで

参加費:3,000円 締切り:4月21日

※親子リトミックと合わせて参加される方は4,000円



七五三 受式者募集

～子どもの成長を仏前に祝う儀礼～

3才、5才、7才は、昔から人生の節目とされてきました。今日まで無事に成長したことに感謝して、仏さまの前でお祝いする儀礼を行います。

時 間:13:00(受付12:30)

対 象:3才、5才、7才

参加費:3,000円 締切り:4月21日



親子リトミック体験会 関連イベント

～創造力と感性を育てよう～

武蔵野音大卒のコンビによる本格派リトミック。ライアー(竖琴)やピアノの音に耳を澄ませながら親子で一緒に音コミュニケーションをしてみよう。

対 象:1か月検診後～未就学児の親子

日 時:4月28日(日)11:00～

参加費:親子1,500円(兄弟参加も同額)

※初参式と合わせて参加される方は4,000円。

講 師:Miki&Sayaka



花まつりをつくろう! 事前イベント

～花つみ&花かざり～

午前中にチューリップをつみ、午後からチューリップの飾り付けを行います。たくさんの方で賑わう「花まつりマルシェ」の演出を自分たちの手で作ってみませんか?

日 時:4月27日(土)8:00～15:00

持ち物:長ぐつ、手袋、お弁当

※雨天の場合は暖かい服装で雨具をご持参ください。

参加費:無料 ※雨天決行



総代会

六月二日午後三時

花つみ&花かざり

四月二十七日午前八時

正信偈に学ぶ

四月二十四日午後一時半

講師:天岸浄圓師

インド音楽ライブ

四月十七日午後七時

※申込み制(三千円)

清掃奉仕

四月十日午前八時半

展覧会「釈迦十大弟子とジャータカ物語」

四月六～二十八日



合 掌

四月六日から開催する「オテラ・ザ・エキシビション」は、仏教をテーマに作家さんへ作品依頼をして、その作品を中心に開く展覧会です。今回は入善町在住の版画家、玉分昭光さんに「釈迦十大弟子」を描いていただき、色絵磁器作家の梅田かん子さんとガラス作家の藤井友梨香さんにはお釈迦さまの前世の物語「ジャータカ」をテーマに制作してもらいます。お寺の伽藍や欄間の装飾をはじめ、書や宗教画など、宗教と芸術文化は共に発展してきた歴史があります。その現代版となります。他では見られない善巧寺の法物となりますので、ぜひご覧ください。



ぜんぎょうじ

検索